

令和5年1月30日
港湾局計画課

「次世代高規格ユニットロードターミナル検討会」を開催します

～情報通信技術等を用いた内航フェリー・RORO 船ターミナルの検討を開始～

国土交通省港湾局では、2024年度からのトラックドライバーの時間外労働の上限規制等により、労働力不足の問題が顕在化する中、情報通信技術や自動技術を用いた内航フェリー・RORO 船ターミナルの荷役効率化などの取組を検討するため、次世代高規格ユニットロードターミナル検討会を開催します。

- 内航フェリー・RORO 船による輸送は、近年のトラックドライバー不足等によるモーダルシフトの受け皿となるとともに、災害時に他のインフラ機能が停止する際に緊急輸送手段として利用可能であるなど、国内物流を維持する上で極めて重要です。
- このような中、トラックドライバーについては、2024年度から時間外労働の上限規制適用等により更なる労働力不足が懸念され、これにより内航フェリー・RORO 船によるユニットロード貨物(※)の輸送動向変化や輸送需要増加が想定されます。
- これらに対応し、内航フェリー・RORO 船のターミナルにおいて、必要となる港湾整備及び情報通信技術や自動技術を用いた荷役効率化などの取組を進めるため、次世代高規格ユニットロードターミナル検討会を開催します。

(※)一定の単位(ユニット)にまとめて輸送される貨物

記

1. 日 時 : 令和5年2月2日(木) 17:00～19:00
2. 場 所 : 合同庁舎2号館 1階 共用会議室2A・2B(web 併用)
3. 主な議事 : (1)内航フェリー・RORO 船輸送の現況と今後の課題及びターミナル機能強化の取組内容
(2)検討会の今後の進め方について 等
4. 構 成 員 : 別紙のとおり
5. そ の 他 :
 - ・会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶まで傍聴及び撮影が可能です。ご希望の場合は、2月1日(水)17:00 までに「hqt-kowan-kikaku@ki.mlit.go.jp」までメールにて所属・連絡先をご連絡のうえ、当日 16:50 までに会場へお越しください。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場ではマスクをご着用いただくとともに、各社原則1名とさせていただきます。
 - ・資料及び議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。

【問い合わせ先】

港湾局 計画課 企画室 清貞、友永、鎌谷

TEL: 03-5253-8111(内線:46343) / TEL 03-5253-8670(直通)

次世代高規格ユニットロードターミナル検討会 構成員名簿

(敬称略・順不同)

◎：座長

<有識者委員>

石黒	一彦	神戸大学大学院海事科学研究科准教授
加藤	博敏	流通経済大学客員講師
福田	大輔	東京大学大学院工学系研究科教授
◎ 根本	敏則	敬愛大学経済学部教授
赤倉	康寛	国土技術政策総合研究所港湾システム研究室長

<内航海運業者（フェリー事業者、RORO 船事業者）>

佐々木	正美	新日本海フェリー（株）代表取締役常務取締役
渡邊	恒徳	（株）フェリーさんふらわあ執行役員経営企画部長
辻	雅裕	阪九フェリー（株）執行役員関西本部長兼神戸支店長
山本	哲也	（株）名門大洋フェリー常務執行役員旅客本部長
石丸	重孝	オーシャントランス（株）東京港支店支店長
楠	肇	栗林商船（株）専務取締役営業本部長
中越	公一	川崎近海汽船（株）内航定期船部部长
小野田	元	近海郵船（株）定航部長
下地	秀明	琉球海運（株）取締役東京支店長
下永	智規	商船三井フェリー（株）執行役員経営企画部長

<オブザーバー（国土交通省）>

総合政策局	物流政策課
自動車局	貨物課
海事局	内航課

<事務局（国土交通省）>

港湾局	計画課
-----	-----